

# 旭川未来会議 2030

環境分野テーマ

## 未来のためのサステイナブルな街の実現

2022年11月1日  
環境分野

# サステイナブルな街の実現に向けて・・・

## 3つのテーマを設定

- ゼロカーボンシティ旭川を目指して
- ゼロウェイストタウンを目指して
- 自然との共生を目指して

## テーマ設定の理由



ZERO CARBON  
HOKKAIDO  
ASAHIKAWA

### ● ゼロカーボンシティ旭川を目指して

国や北海道が二酸化炭素の実質排出ゼロを目指す中、旭川市が表明した「ゼロカーボンシティ」を2050年までに実現するためには、2030年までに土台作りに取り組むことが重要。



### ● ゼロウェイストタウンを目指して

社会全体で循環型社会の形成を目指す中、ごみの埋め立てなどによる環境負荷に対する低減を図るためには、市民みんなで見据えてごみの減量に取り組むことが重要。



### ● 自然との共生を目指して

市民が自然と共生し心地よく過ごすためには、旭川市の環境における現状を知り、緑の大切さや役割を考えることが重要。

## 環境分野 参加者・会議経過

### 参加者

※五十音順

○朝倉 優美香 ○鹿島 浩平 ○菊池 佳 ○北沢 侑也 ○久保 澄佳  
○佐藤 靖隆 ○中村 和子 ○橋口 新平 ○藤山 大樹 ○吉田 小夏

回	日時	場所	参加者数	議題・内容
1	7月21日 18:30~20:30	旭川市第二庁舎	9人	・分野設定 ・分野別議論① (・食品ロス ・ごみ廃棄物 ・交通)
2	8月8日 18:30~20:30	旭川市第二庁舎	9人	・分野別議論② (・エネルギーとゼロカーボン ・自然環境 ・環境教育)
3	10月12日 18:30~20:30	旭川市第二庁舎	6人	・意見の取りまとめ

# ゼロカーボンシティ旭川を目指して①

## ① 地産地消エネルギーの活用

- 地産地消エネルギー創出の可能性を官民連携で検討
- 上川地方の市町村と連携し、再生可能エネルギー資源の可能性を調査
- 地場の再生可能エネルギー資源の有効活用のため、エネルギーの地産地消を検討



## ゼロカーボンシティ旭川を目指して②

### ② 脱化石燃料

○公共施設で使用する燃料の脱化石燃料

⇒灯油，石油よりもCO<sub>2</sub>排出量が少ない  
ガス，電気，木質バイオマスへの転換

○公用車のEV化（電気自動車化）

⇒公用車をEV化すれば，EVが広く  
市民に浸透



## ゼロカーボンシティ旭川を目指して③

### ③ クリーン交通の推進

- 高齢者，若者にやさしい公共交通機関の整備  
(早い，安い，きれい，便利)
- 歩きたくなるまち，自転車に乗りたくなるまち
- バス会社と連携し二酸化炭素を排出しない  
ゼロエミッション車（ZEV）を公共交通  
機関へ導入
- 相乗りタクシーのシステムを導入し，エネル  
ギー効率を高めた交通システムの構築



# ゼロウェイストタウンを目指して①

## ① なぜ、ゼロウェイストなのか

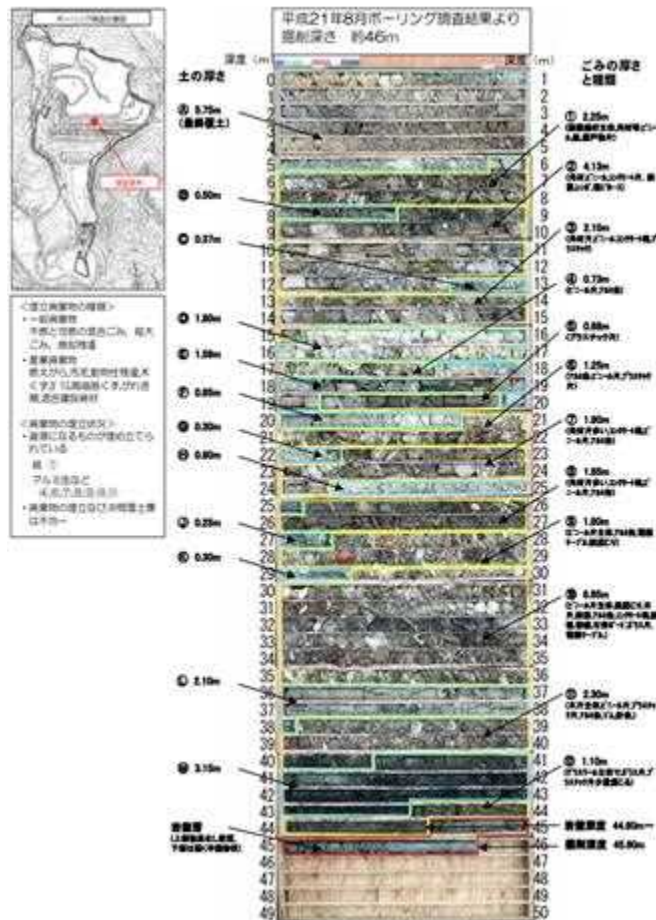
○埋立地は、100, 1000年後の  
未来世代に引き継がれる**負の遺産**



○緑豊かな**春志内**に新たな最終処分場建設



○蓄えられるゴミは**15年分**  
100年後には、**また7の処分場**





## ゼロウェイストタウンを目指して②

### ② なぜ、ゼロウェイストなのか

「旭川市の廃棄物処分場設置の歴史」より引用

「江丹別って最終処分場のある、あのカラスのいっぱいいるところ」と旭川市民に思われていた。しかしその原因は、町から運ばれてきたごみである。」

「30年前ころ、市街から江丹別に戻るとき生臭いにおいがして、気分が悪くなった。こんなに自然豊かな山の中で、どうしてこんなにおいがするのかと本当にかっかりしたものだ。」

施設の衛生環境は大幅に改善しているが、埋立地が半永久的に残り続けるのは事実。自然豊かな旭川にあといくつの埋立地を次世代に残すのだろうか？

## ゼロウェイストタウンを目指して③

### ③ なぜ、ゼロウェイストなのか

春志内のサイクリングロード

100、1000年後の未来世代に

わたしたちが残したいものは...？



## ゼロウェイストタウンを目指して④

### ④ ゼロウェイストタウンの事例（徳島県上勝町）

- 持続可能なだけでなくコスト削減
- サスティナビリティは優れた観光地の絶対条件【観光振興】
- 移住者は、よりサスティナブルで本質的な街へ【移住促進】



## ゼロウェイストタウンを目指して⑤

### ⑤ 具体的なアクション

#### ゼロウェイスト宣言

- ・ 旭川市としてのビジョン策定
- ・ 達成に向けたロードマップ作成

#### REDUCE／REUSE／RECYCLE

- ・ 生ゴミのコンポスト義務化
- ・ 店舗のリターナブル容器の定着化・量り売りなどの推進
- ・ マイボトル推進やアイコンニックな給水所の設置
- ・ リペアイベントや、フリマ、シェアリングエコノミー推進プロジェクト
- ・ 緑のごみ袋をなくそう

# ゼロウェイストタウンを目指して⑥

## ⑥ 食品ロスの削減

- 旭川の家庭ごみの3割以上を占める生ごみを減らしたい！
- 街中に環境スポットとなる拠点を設置（※以下の機能を付与）
- フードバンク活動の市民への周知と活用促進
- 規格外品や未利用食品を必要とする人や事業者につなげる仕組づくり
- 飲食店などで利用者が楽しく前向きに取り組める食べ残し対策の検討





# 自然との共生を目指して①

## ① 自然・野生生物との共生

- 自然と人の集まる森のようなまち
- 市民一人一人が野生動物との関係性を考える
- 未来を見据えた森林や河川などの開発
- 森林の育成
- 外来種の防除，生物多様性の保護



## 自然との共生を目指して②

### ② 都市と自然の調和～子どもからお年寄り，ペットにもやさしい街づくり～

- 北彩都ガーデンのような公園を増やす
- 買物公園の緑地化  
⇒買物公園に芝生のルートをつくる



# 目指す姿を達成するための学習や情報発信について①

## ① 体験型学習

- ごみ処理場等の見学会
- 外来種ウチダザリガニ・アズマヒキガエルの防除体験

⇒体験型学習で実生活との関連性を学ぶことにより意識付けが図られ、自分たちの環境を守ろうと行動する意欲が出る。





## 目指す姿を達成するための学習や情報発信について②

### ② 情報発信

○ SNS や街頭モニターでの情報発信の強化

⇒CO2やごみの排出量などについて、視覚的な情報を流すことにより日常的に環境に関心を持つ

○学校と連携した環境教育

○市民・NPO・行政の輪

⇒一緒に集まり学ぶ，共同で作り上げるイベント，共に話し合う機会の創出



## 目指すまちの姿（2030年に向けて）

- ・ 現在、日本全国の市町村がゼロカーボンを表明している中、旭川市が先陣を切って取組を進めることでモデルケースを目指したい！
- ・ 100年後、1,000年後の未来に、ごみの埋め立てという負の遺産をできるだけ残さず、自然豊かな旭川を守るためにごみを減らしたい！
- ・ 都市と自然の調和を図る中で、緑があふれる市民の憩いの場を増やし、街を訪れる人に対しても観光スポットとしても活用したい！
- ・ 「サステイナブル」は、今や観光施策や移住施策においても重要な要素。たくさんの方が訪れたい街、住みたい街づくりを進めたい！

## 目指すまちの姿（未来に向けて）

最後に・・・未来に向けて私たちはこう考えます。

**市民一人一人が環境のことを知り考え，住みやすく  
魅力あふれる持続可能な街づくりを進め，未来に自  
然豊かな旭川を残していきたい！！**